

石川 伊佐男 いしかわ いさお

活動地域：高知県仁淀川町 支援可能な地域：全国どこでも可能

現在 仁淀川町 地域おこし協力隊

アドバイザー可能な分野

- ・移住・定住促進
- ・観光振興・交流事業

地域での活動

当初、隊員として着任する前、不登校中学生と山村留学施設である池川自然学園の支援と観光への取り組みを自分の活動のベースと考えていました。しかし、仁淀川町も、他の中山間地域での課題のひとつである、「人口減と高齢化社会による地域力の低下」に対し、町の施策としての『移住促進事業』が立ち遅れていると感じていました。そこで、私なりに「地域の方々(生活改善グループや任意団体など)との連携」から、町の魅力を|り、発信することを心がけて活動してきました。「連携」とは、私が地域の方の協力依頼に応えること、私の企画イベントで地元の方に講師をお願いすることでした。今、その積み重ねが、私の活動になくってはならない「宝」になりました。私自身がこの『宝』をひとつ一つ手に入れ感じたことは、急いで「後継者」を育成しなくてはならないということです。だから、一日でも早く『移住促進事業』を進めていくべきだと考えました。

私は役場職員に移住促進の窓口は難しいと考えています。厳しい言い方をすれば、どうしても、8時から17時の時間で、職員の意識や体質は変わらないと感じるからです。もちろん、職員にも個人差があるから断定はいけませんが、より効果を求めるならば、役場以外に移住希望者の気持ちに寄り添うような対応や窓口が必要だと考えます。私はこのような気持ちから、移住促進事業に関わり、移住希望者対応をしてきましたし、任期満了後も、これらを中心に地域おこしの活動していきたいと考えています

自己PR 得意分野やアドバイザーの抱負

私の得意分野とアドバイザーとしてできることは

- ①移住・定住促進に関すること
- ②交流事業企画に関すること
- ③地域おこし協力隊の導入と活動に関することの3つです。

私が仁淀川町を初めて訪れたのが、協力隊の採用試験で、2度目が引越しの日です。住む家の情報もよく分からず、仕事はあるからと引越ししたものの。予想と現実のギャップに少々落ち込みました。私自身が移住に対し考えが甘かったことを実感しました。今でも私が移住者でその視点と謙虚さを忘れてはいけないと思っています。引越しから2年が過ぎ、任期があと3ヶ月、今更ながら、よそ者の視点が大切だと実感しています。そんな移住者・協力隊としての経験を踏まえ、後輩たちが同じような経験や回り道を繰り返さないように支援したいと考えています。